

「白岡市コミュニティセンターの利用促進に必要なことを考える」グループワークでの意見 に対する報告について

平成30年12月4日作成

Aグループ（渡部副会長、稲垣委員、青木委員、西村委員）

見出し	意見	意見に対する考え方
施設面	・印刷室が狭い（綴じ込みなどができる机があると良い。）	掃除機等を撤去し、整理しました。 テーブルにつきましては、談話室のものをお使いください。
	・駐車場増設していただきたい	白岡浄水場跡地に第2駐車場として79台増設しました。
	・談話室の段差が気になる（バリアフリー） ・トイレの洋式化を進めてほしい。 ・カラオケができる設備が必要（集客のためには必要） ・調理室 ガスではなく、電気 危ないので 電子レンジももう少しあると良い ・コミセンの場所が分かりにくい 入口が分からない	優先順位をつけて対応を考えていきます。
広報活動	・管理運営を見直す 市民主体を考える ・喫茶コーナーを設置できると良い	指定管理者と協議しながら対応を考えていきます。
	・利用のしかたが市民が分かっていない 情報が行き届いていない ・ソフト面でもコミセンの広報活動を広げる仕掛けが必要	開催するイベント等を掲載した白岡市コミュニティセンターだよりの発行を始めました。
	・コミセンまでのアクセス・バス（高齢の方） 手段がない方など	白岡市のりあい交通をご利用ください。
管理・運営	・認定団体などは利用料金が割引で利用できるのか	指定管理者とともに市民活動の活性化を図っていきます。
	・利用規則やルールなど、もっとたくさん情報を出してほしい ・予約の取り方が分からない（一般の方）	ホームページの改修や、コミュニティセンター広報紙の発行を予定しております。

	・コミセンならではの活動を考える（飲食ができる） ・子どもとシニアの方が共同でできる活動（和室利用を上げるためにも）定期的に将棋、茶道、碁 ・和室の利用率は？ 低い場合は、他の利用方法もあり？	指定管理者の自主事業の参考にいたします。
--	--	-----------------------------

Bグループ（内山会長、中島委員、江原委員）

見出し	意見	意見に対する考え方
情報の活性化	・活動リストを作成する ・コミュニティ活動リストを作成する ・コミセンだよりを毎月発行する	開催するイベント等を掲載した白岡市コミュニティセンターだよりの発行を始めました。
	・アクセスを考える ・利便性を考える	白岡市のりあい交通をご利用ください。
	・空家となっている家を告知 知らせる ・地域で空地となっている場所を周知する	コミュニティセンターとしては、市からの情報を整理して掲示等していきたいと考えております。
現状のスペース等の改善	・避難経路を分かりやすくする ・AEDの場所を目立つように設置	避難経路及びAEDに係る案内の改善について対応いたしました。
	・各団体のロッカーが必要 ・階段の手すりが必要 ・談話室等にバリアフリーを考える ・照明が暗いように感じます（高齢者が多い時） ・赤ちゃんの駅を充実させる	優先順位をつけて対応を考えていきます。
	・印刷室にハシゴ、掃除機が置いてあるが、場所を移す ・印刷室の場所が狭い テーブル必要	掃除機等を撤去し、整理しました。 テーブルにつきましては、談話室のものをお使いください。
	・各地で行われているユニークなまつりの写真パネル	ギャラリースペースの有効活用について、指定管理者とともに考えていきます。 現在は利用団体の作品展示などを行っています。
	・コミセンにある現状の設備・備品は積極的に活用する ・コミセンにある現状の設備は積極的に活用する	コミュニティ協議会への参加とともに案内できるよう考えたいと思います。
備品	・囲碁・将棋セット、オセロゲーム ・図書（自治体のまちづくり状況、行政学を専門としている先生の本）	市民活動の拠点となるよう新たな指定管理者と協議しながら進めていきたいと思います。
活性化策	・地域別の運動会を行う（ソフトボール、卓球大会）	まずは近隣行政区と連携していきたいと考えております。
談話スペース	・コーヒー、茶のサービス ・カフェスタイルの場所がほしい ・使用可能時間帯では、いつでも飲み物、食べ物が調達可能	市民活動の拠点となるよう新たな指定管理者と協議しながら進めていきたいと思います。

ルール	・開館時間をフレキシブルにする	貸出時間を1時間単位とすることを予定しています。
	・(常時) 使える時間帯では運営にたずさわる人がいる	開館時間内は、指定管理者が常時おります。
	・運営に当たる団体の育成が必要	指定管理者とともに体制を考えていきます。
管理体制	・市民活動の拠点となる具体的なスペースがほしい (いつでも、だれでも、使えて歓談できる。飲み物、食べ物もある。) ・市民が拠点に来て気づかいなく使えるスペースとなること	談話室がそのように利用していただけるよう考えていきます。